



ご挨拶

令和3（2021）年5月6日
大和高田ロータリークラブ
60周年実行委員長
甲村 侑男

本年度、大和高田ロータリークラブは創立60周年を迎える記念の年であります。「品格と行動力のあるクラブ」の理念のもと、奉仕活動を行ってまいりました。

昭和、平成、令和と時代も大きく変遷し、2020年度は東京オリンピックが開催され外国人観光客も多く訪れ、大きく日本が飛躍する希望の年として期待していました。しかし、新型コロナウイルスの世界的な感染によるオリンピックの延期、世界各国との往来禁止等多くの規制による経済の停滞に世の中が一変致しました。

60周年実行委員会の組織も早くから立ち上げ、記念事業として、地域の幼、小、中、高校生を招いて10月に開催する「記念音楽祭」も中止せざるを得なくなりました。

その代替事業として、ホスピタルアートで協力させて頂いている地域の基幹病院である、大和高田市立病院に日夜ご苦勞をお掛けしている医療従事者による詰所に、空気清浄機15台を寄贈し環境改善に役立てて頂きました。

一方、国内においては人口減少や高齢化等、日本社会の構造変化を背景に地方の疲弊が大きな社会問題となっています。私共地域行政の、大和高田市、香芝市、葛城市、広陵町の首長様と地域の抱える問題、行政への取組みについての意見交換を実施し、ロータリークラブの取組むべき目標の一助とさせて頂きました。又、その会議で各行政より要望のあった事業に対し、大和高田市へは新市庁舎に壁掛け時計18台、香芝市へは市内4中学校図書室に国別大図解世界の地理全8巻等、合計156冊、葛城市へは非接触式検温器7台、広陵町へは町内14施設に就学前児童向け絵本427冊を、それぞれ寄贈致しました。コロナ禍の大変厳しい社会情勢の中、大和高田ロータリークラブは「新しい時代のはじまり」をテーマに、60年の歩みを振り返り奉仕活動を通じて、地域から信頼されるクラブを目指して進んで参ります。